



## 6 高校期（16～18歳）

この時期は、子どもを一個人として信じ見守るとともに、人としての生き方を語り合いながら、社会人としての自立を支援することが大切です。

### 自分の個性への誇り

- 思春期の混乱から脱却し、大人の社会を展望しながら生きる課題を真剣に模索し始める。
- 保護者から心理的に離れ、自分を客観的に見つめ、自立する。（親離れ）
- 家族や周囲との関係の中で、自分のあり方を決める。
- 自分らしさを見据えながら将来を描き始める。
- 社会人となることや親となることをイメージし始める。

### 保護者のかかわりは？

★自立に向けて助言しましょう。

- ・子どもに願う生き方を伝える。
- ・子どもの考えを受け止めながら語り合う。
- ・保護者の生き方を語る。



★自立した一個人として接しましょう。

- ・子どもを信頼する。
- ・子どものよいところを言葉で伝えるなど、愛情を伝え続ける。

